

津波から一年後と
六年後の三陸より
渾身の2部作

交又する

震災と芸能

東日本大震災のあと、

人々を勇気づけ絆を取り結ぶ芸能の底力。

災害の爪痕生々しい村で、人々の人生に

寄り添いながら、舞い遊ぶ。

津波の跡地に、神楽の音が再起を告げる

産声のように鳴り響く。

廻り神楽 かぐら

海の産屋 うぶや
雄勝法印神楽 おがつほういん

2018年正月“春を呼ぶ”2部作 連続上映決定！



海の産屋

雄勝法印神楽

◎宮城県雄勝半島、石巻市の漁村立浜は、東日本大震災の大津波で46軒中1戸だけを残し被災した。
◎その1年後、絶望の淵から立ち上がったのは、村に残ることを決めた12人の漁師たち。
◎「いっさい、いっさい、海を恨んでいねえ」と、男たちは生活の再建とともに600年続く神楽の復興に乗り出した。海辺に立てられた舞台は、新しい命を鼓動させる産屋となる。



海は豊穡の産屋
—この
三陸の海辺、
新しい命を生む
母なる産屋の庭に
祈りと歓びの
神楽が舞い遊ぶ。

出演：雄勝法印神楽保存会 語り：寺尾 聡 撮影：山田武典・東野 良 音声：黒木禎二・河合正樹
音楽：Ky 仲野麻紀・Yann Pittard 監督：北村皆雄・戸谷健吾 プロデューサー：手塚眞・三浦庸子
制作協力：公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 製作：ヴィジュアルフォークロア・ネオンテトラ

音響：齋藤恒夫 整音：浜口 崇

2017年（撮影2012年）／75分／カラー

廻り神楽

◎岩手県宮古市に根拠地をもつ黒森神楽は、江戸の初期から340年以上、三陸海岸の久慈・釜石間150kmを巡り続けて来た。民家を一夜の宿として、座敷で神楽を演じ、亡き人には神楽念仏を唱える。
◎ザシキワラシやオシラサマ、神々や精霊が今も息づく豊かな三陸の海辺に、津波のあとの「海の遠野物語」が紡がれる。被災から6年後の海辺の人々の願いを描くドキュメンタリー。



神楽が来れば、
春はもうすぐなのす。
—海辺の、
死者と生者の
通い路を
今日も神楽衆は
廻ります。

出演：黒森神楽保存会 語り：一城みゆ希 昔話朗読：森田美樹子 構成：北村皆雄・遠藤 協
撮影：明石太郎・戸谷健吾 録音・効果：齋藤恒夫 サウンドデザイン：森永泰弘 整音：飯森雅允
編集：田中藍子 監督：遠藤 協[兼プロデューサー]・大澤未来 エグゼクティブ・プロデューサー：三浦庸子・北村皆雄
機材協力：小輝日文 製作：ヴィジュアルフォークロア 助成：文部科学省文化芸術振興費補助金
ATP岩手映画プロジェクト第5回支援作品

2017年／94分／カラー



企画：ヴィジュアルフォークロア 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-12-12 オスカカテリーナ3F
TEL: 03-3352-2291 FAX: 03-3352-2293 E-mail: info@vfo.co.jp http://www.vfo.co.jp/

2018年1月2日(火)→19日(金)『海の産屋 雄勝法印神楽』迎春第一弾!

2018年1月20日(土)から『廻り神楽』待望のロードショー!

ポレポレ東中野

中野区東中野4-4-1 ポレポレ坐ビル地下
TEL: 03-3371-0088 www.mmjp.or.jp/pole2/
JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分 地下鉄大江戸線東中野駅A1出口より徒歩1分

